

(別紙様式06-2)

科学データ研究会
Science Data Symposium

村山泰啓、国立研究開発法人情報通信研究機構、ナレッジハブ、上席研究員

科学データ研究会は、名古屋大学宇宙地球環境研究所の共同利用事業の一環として、広く科学データの保全・共有態勢の構築活動に関する国内外の情報や、データサイエンスに関わる最新の研究情報の共有を基に、Open Dataやオープンサイエンスの取り組みに向けた議論を行っている。今回は、日本学術会議・情報学委員会のWDS小委員会のメンバーが主導する、WDS国内シンポジウム(第13回)との共同開催として、オープンサイエンス推進、科学データの整備・共有等の活動や、関連する国際動向の情報共有に加えて、今後の活動の方向性に関する情報交換と議論を行った。研究会はオンライン方式で開催し、36名の出席者があった。内容は、日本学術会議国際サイエンスデータ分科会・WDS小委員会と同CODATA小委員会より、国際学術会議(International Science Council)やUNESCO主導で進められているアジア・オセアニア地域における、オープンサイエンスの振興に向けた現状について報告があった。現状では、同地域の各国でプラットフォームの開設が進んでいるが、現地で取得されている科学データの保全・公開態勢の確保が不十分な状況にある。宇宙地球環境系分野の研究では、日本主導のもとに、観測データの公開や、データに基づく研究活動の振興に向けたワークショップの開催などが先行的に行われているため、これらの活動を拡大して、オープンサイエンスの全体的なレベルアップに繋げるような活動が、今後重要であるとの共通認識が得られた。なお研究会情報と講演資料は、<https://takashiwatanabe.wixsite.com/wds-japan> より公開されている(公開承諾者のみ)。プログラムを以下に示す。

2025年度名古屋大学宇宙地球環境研究所・共同利用研究集会

科学データ研究会—WDS 国内シンポジウム (第13回)

日時：2026年2月19日午後1~4時

開催形式：オンライン (ZOOM)

研究会代表者：村山泰啓 (京都大学、情報通信研究機構)

共同主催：名古屋大学宇宙地球環境研究所、情報通信研究機構

研究会情報：<https://takashiwatanabe.wixsite.com/wds-japan/about-1-1>

時間帯	講演題目	講演者 (所属)
13:00-13:20	挨拶、WDS 及び FAIR データ等関連活動報告	村山泰啓 (京都大学、情報通信研究機構)
13:20-13:40	CODATA 関連活動報告	芦野俊弘 (東洋大学)
13:40-14:00	WDS 関連の最近の動向:国際シンポジウム (アジア・オセアニア大会、IDW) と海外招聘	金尾政紀 (情報・システム研究機構)
14:00-14:20	WDS-ECR の活動の報告及び市民参加型のデータ活用デザイン	澁谷游野 (東京大学大学院情報学環)
14:20-14:40	UNESCO 等、オープンサイエンスにおける国際連携	林 和弘 (文部科学省 科学技術・学術政策研究所)

14:40-15:00	ユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の海洋データ共有の取組	道田 豊 (東京大学大気海洋研究所)
15:00-15:20	コメント、ディスカッション、休憩タイム	
15:20-15:40	ISC・Future Earth のアジア地域活動とWDS Asia-Oceania Network との連携	渡邊 堯 (情報通信研究機構)
15:40-16:00	古地磁気偏角の解析と、測量実施地点周囲の古環境復元	辻本元博 (地球電磁気・地球惑星圏学会)
16:00-16:20	コメント、ディスカッション	